

1年次 [導入期]

●観光学概論 ●基礎演習

●観光人文学概論

2年次 [形成期]

●観光社会学概論

●観光人類学概論

●観光文学概論

●観光地理学概論

●グローバル・スタディ・プログラム1・2

など

●観光社会学2 (移動)
●観光社会学3 (ジェンダー)
●観光社会学4 (文化)
●観光社会学5 (メディア)

●観光人類学1 (文化の表象)
●観光人類学2 (エスニシティ)
●観光人類学4 (宗教)
●観光人類学7 (開発援助)

●演習(2年)A・B

3年次 [完成期]

●観光歴史学概論

など

●観光地理学1 (都市)
●観光地理学2 (農村)
●観光地理学3 (リゾート地)
●観光地理学5 (自然環境)

●観光文学2 (SF)
●観光文学3 (紀行文)
●観光文学4 (トラベルライティング)

●観光歴史学1 (近世)
●観光歴史学2 (近代)
●観光歴史学3 (現代)
など

●観光と文化2 (メディア)
●観光と文化3 (ポップカルチャー)
●観光と文化4 (スポーツ)

●観光と文化5 (食)
●観光と文化6 (風景)

●観光と社会2 (交通)
●観光と社会3 (政策)
●観光と社会4 (医療)

●観光と社会5 (環境)
●観光と社会7 (国際協力)
など

●演習(3年)A・B

●卒業研究指導A・B

●卒業論文

4年次 [完成期]

導入期

観光現象を多角的に捉え
学びの基盤を築く

観光学への入門として、さまざまな観光現象や観光産業への理解を深め、その歴史的展開や意義について学びます。観光にまつわる新しい事象や諸問題を考察し、観光を学問的に捉える面白さを体感します。

形成期

理論と実践の相乗効果で
専門性を高める

多様な視点から観光を捉えるための理論を学ぶと同時に、体験的学習によって学びを深めます。2年次の「演習(2年)A・B」では、海外フィールドワークや企業・自治体とのコラボレーションも実施されます。

完成期

グローバル化とともに多様化する
観光の諸問題を多彩なアプローチで探究

専門科目の履修によって専門知識を確実に身につけ、英語で開講される科目では、異文化交流に関する知識と分析力、英語で論理的に考える力を養います。3年次の「演習(3年)A・B」や4年次に取り組む卒業論文では、社会学、人類学、地理学、文学、歴史学のアプローチや手法を駆使して特定のテーマを探究。グローバル化に伴い観光を取り巻く問題も多様化するなか、その解決に向けた道を探り、新たな分野を切り拓くことを目指します。

インターシップ科目

観光インターンシップA・B
長期海外インターンシップ
経団連インターンシップ

英語による科目

Introduction to Tourism 1・2
Tourism Study 1 (Business)
Tourism Study 2 (Society)

Tourism Study 3 (Destination)
Tourism Study 4 (Culture)
Current Trends in Tourism 1・2

寄付講座科目

観光ビジネス概論
交通産業特論
観光地づくり

ガストロノミー(美食)と観光
観光IT戦略論